

広島もみじまんじゅうラウンド報告

H30.8.12 エム・シー福山 大会議室

「広島もみじまんじゅうラウンド」が8月12日（土）に福山市で開催されました。

佐藤先生、広島県、福山市の先生方、教育委員会等、計20名が参加して、体育について熱く語り、真剣に考える、大変有意義な会になりました

1 話題提供 「よい授業から子どもたちが主体的に学ぶ授業を考えよう」

初めに、佐藤先生から、学習指導要領の改訂に伴って、移行期に取り組むべきことについて、これまでの実践から感じることや、今後の研究課題などから分かりやすく説明していただきました。

体育固有の「分かった」「できた」の繰り返しが大切であることを改めて感じることができました。



2 ワークショップ

「主体的な学びを促す授業づくりについて考える」

～知識を明確化し、三つの資質・能力をバランスよく育むための単元構想図作成ワーク～



単元構想図のワークショップを行いました。

今回は、「知識・技能」の学習内容を、あらかじめ位置づけた単元構想図をもとに、「思考力・判断力・表現力等」及び「学びに向かう力、人間性等」を「いつ」「どの場面で」「どのように」育んでいくのかを考える形式で行いました。

学習活動や子どもたちの姿を具体的にイメージしながら、熱心に協議することができました。

3 終わりに

毎年、多くの先生方にご参加いただいています「もみじまんじゅうラウンド」を今年は福山で開催しました。先生方が互いの考えを共有し、また協議することで、さらに体育を盛り上げようというエネルギーを高めることにつながったのではないかと思います。お忙しい中、ご参加いただきました先生方、ありがとうございました。